



Oasis meets Books

オアシス・ミーツ・ブックス

本のあるオアシス 本のある人生

2019年4月 vol.5

皆様のご協力のお陰でこの“OmB”も2年目に入りました。

私たち委員の期待をはるかに上回る様々なジャンルのご紹介をいただき、感謝と感激でいっぱいです。次回のオアシス文庫新規購入は法人のご理解と援助のもと、今まで紹介された本を数種類購入します(^^) スタッフの推しの本、どうぞお楽しみに!!

若年性アルツハイマーの母と生きる / 岩佐 まり

老健 オアシス デイケア・ロング / 科長 雲井 智子



いつの時代にも母は娘を想い、娘は母を慕い続ける。

そんなごく当たり前の親子に突き付けられた現実とは、「若年性アルツハイマー」の診断。優しく、誰よりも娘を愛していた母が、目の前でどんどん壊れていく現実の中、娘は母を引取りシングル介護が始まる。仕事と介護の両立で身も心もずたずたに引き裂かれ、病気だと理解しているはずなのに母に吐いてしまう暴言に自分自身を責める娘。その度に寂しそうな顔を見せる母。何度も繰り返される葛藤に家族介護の厳しさがリアルに表現される一方、親子がお互いを思いやり、慈しむ姿に涙が溢れます。

認知症を理解し、親子の絆に賛同し、支援してくれる周りのサポートに感謝しながら、母と娘の人生はこれからも笑顔や幸福に満たされた毎日が待っていると期待したい。

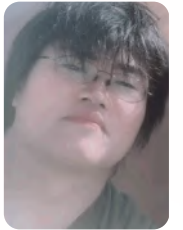
介護を職業とする私達の心をほっこり包み込んでくれる作品に出逢い、この仕事を全うしたいと心新たに思う一冊です。



・次回⇒老健 オアシス デイケア・ショート / 柔道整復師 濱田 健太郎

バチカン奇跡調査官 / 藤木 稟

特養 オアシス寿安 生活支援課 / 介護士 山出 成一



世界最小の独立宗教国家「バチカン市国」に世界中から寄せられる『奇跡の申告』に対して厳密な調査を行い、真偽を判明する機関『聖徒の座』に所属する神父二人のストーリーです。天才的な頭脳を持つ科学者の平賀・ヨゼフ・庚と、古文書・暗号解読のエキスパート、ロベルト・ニコラス。天才神父コンビが世界中を飛び回り、奇跡を調査し、その中で起こる連続殺人事件までも科学的かつ宗教的な側面から解決していきます。



この作品は登場人物の背景がとても濃く描かれ、科学的・宗教的にも細かく書かれているので読み応えがあります。2017年にはアニメ化もされ、現在はコミック化もされていますので書店等に立ち寄った際には、是非興味を持っていただけたら幸いです。

ちなみに他にも角川ホラー文庫は面白い作品がいっぱいあります。

・次回⇒特養 オアシス寿安 生活支援課 / 介護士 小牟禮 美佐子

きよしこ / 重松 清

グループホーム オアシス平野 / 介護士 美浪 麻里子



18歳の息子に「お母さんでも読める本ない?」と聞いたところ、差し出されたのがこの重松清の「きよしこ」でした。どうやら飽き性の私には、短編小説の方がいいだろう、と思ったようです。



短編小説と言っても全く異なった物語ではなく「吃音」、つまり言葉がなかなか出てこない、言葉がつかえてしまう少年が成長する過程を、おおまかではありますが、周りの人間と自分との感情の交わり合いによってうまく表現されたものでした。

内容は、少年の小学校時代から大人になっていく物語です。私は読み進んでいくうちに、主人公の少年になり、母になり、クラスメイトになり、と、登場人物にどんどん感情移入をしていきました。どんな時にも前向きに考える少年が一人称で語っているせいなのか、読み終わる頃には勇気のようなものが湧いてきました。

皆さんにも是非読んでほしい一冊です。

・次回⇒グループホーム オアシス平野 / 介護士 福井善治

サラバ! ~上~/ 西加奈子

老健 オアシス リハビリテーション科 / 作業療法士 碓 真実



第152回直木賞受賞作「サラバ!」は、大阪育ちの西加奈子さんが作家デビュー10年の記念に手がけた作品です。「アメトーク」という番組で以前芸人さんたちが



「サラバ!」をかなり推していた記憶があり、たまたま本屋さんで文庫化されて売られていたのを発見し、手にとったのですが…小説なんて久しぶりに読む私が上巻(これに続く中・下巻)をあっという間に読み切ってしまうほどかなりハマってしまいました!

主人公の歩、その家族を中心としたお話しで、海外での生活や、かなり曲者な家族の存在など、私自身の生活とはかけ離れた人生が約40年間を急展開に進んでいくことがとても面白く感じました。関西弁が使われていることも読みやすかったポイントです。読み進めるにつれ、タイトルの「サラバ!」の素敵なエピソードにも出会えます!ぜひおすすめします!!

・次回⇒老健 オアシス リハビリテーション科 / 理学療法士 橋本 武

妻のトリセツ / 黒川 伊保子



デイサービス オアシスきずり / 介護士 井上 真彰

この本は2018年10月に販売されてから沢山のテレビで紹介され、「情報ライブミヤネ屋」「スッキリ」で知り、読み始めました。妻が怖いと言う夫が増え、一言いえば10倍返し。私はまだ体験していませんが、いつか思う日が来るであろうと思い読んでいます。

私の家内も読んでいますが、女性が見ても面白いらしく「なるほどね」「これ分かるわあ」と耳にするので思い当たることあるのだと怖くなります。新婚さんから長年のご夫婦まで幅広く、男性にも女性も楽しく読める本だと思います。

仕事柄、人生の大先輩であるご利用者様との会話で、夫婦仲の話をする事もあり勉強させていただいています。



・次回⇒ デイサービス オアシスきずり / 介護士 五味 竜二

デイサービス オアシス長瀬 / 介護士 田上 真理子

本屋さんの店頭で「おすすめ!」と書いてあり、本の帯には「テレビ・雑誌などで大反響」となっていましたので読んでみました。

内容は『妻が怖い』という夫が増えている。その理由は、いつもイライラしていて急に怒り出す…何をしても怒られる…無視されるなどですが、殆どの夫にはその「怒り」の本当の理由はわからない…このような苦しい状況を変えるためのテクニックをさまざまなパターンとともに紹介されているのです。

どの項目も「なるほど!!」と思う内容で感心しました。これは夫婦間のみならず、社会での人間関係を円滑にするためにも参考となる書籍だと思いますので、本屋さんの言う通り「おすすめ!」です。



・次回⇒ デイサービス オアシス長瀬 / 介護士 大村 勝二

週刊プロレス / ベースボール・マガジン社

介護支援センター オアシスながよし / ケアマネジャー 八尾 和哉

私が12歳の時にコンビニに置いてあった週刊プロレスをたまたま見てプロレスに興味を持つようになりました。当時は情報源が少なかったこともあり、それからというもの毎週欠かさず購入し、今でも続けています。試合観戦も年に7~8回ぐらいは行っています。



プロレスというとも良くも悪くもいろいろなイメージを持たれると思います。私が子供の頃に見に行った時の会場内の雰囲気は結構怖い感じでしたが、今は女性や子どもがとても多く、かなり雰囲気も変わってきています。最近では試合以外でもテレビや雑誌に出る機会が多くなってきています。一番有名なのが大みそかの「笑ってはいけない」シリーズでピンタをする蝶野選手ではないかと思えます。個性的なキャラクターの選手も多く、お気に入りのレスラーが見つければ初めて見る方でも楽しめると思えます。



・次回⇒ 介護支援センター オアシス / ケアマネジャー 小原 茂

オアシス文庫 recommend

著者は、大学生の時に「こんまり流ときめき整理収納法」を編み出してコンサルティング業務を開始。2015年に米国「タイム」誌の「世界で最も影響力のある100人」に選出されています。



「人生がときめく片づけの魔法」
近藤 麻理恵

こんまり流整理術は「モノを捨てるかどうかを見極める」と「モノの定位置を決める」がポイントですが、より大事なのは前者のようです。「捨てるかどうかは実際に触れてみてときめきを感じるかどうか」つまり、要らないモノを選んで捨てるのではなく、人生において大事な残すべきモノを選んでそれ以外を捨てるのです。「ときめき」という感情が処分の基準なんて曖昧なのは?と思いましたが、私にも思い当たることがあったのです。

「(いつか) 痩せたら着られる」「高かったから捨てるのはもったいない」と仕舞い込んでいた洋服には「いつまで経っても表舞台に出してあげていない、役立てていない」という罪悪感を感じ、うっとうしさから見えなように単筒の奥に押し込んでいましたから。(先月にやっと、「感謝」と「お詫び」を言ってから捨てました!)

この整理術はあなたに合うでしょうか? 幸福感をもたらしてくれるでしょうか? ご一読を。(教育委員会 豊永有紀子)

老健入り口の書棚「オアシス文庫」から貸し出せます▶



編集後記

昨年の4月に Oasis meets Books 創刊号を皆さんにお届けしてから1年になります。

毎号、7人の方々にご自身の好きな本、お薦めの本をご紹介いただき、無事に「数珠繋ぎ」することができました。皆さんのご協力に感謝申し上げます。

「趣味はなに?」と聞かれて「読書」と答えるのは、「他にこれといっ

た趣味がないから・・・」「ありきたりかな?他の人がやっていないような趣味を持ちたい。」と書いていたことがありました。ですが、1冊の本さえあれば場所や時間も選ばず「知識が増える」「感動する」「人生について考える」「想像する」・・・他にもいろいろ。

やっぱり、読書は最高の趣味の一つです。

オアシス図書コーナーとこの Oasis meets Books が「趣味は読書」という方を増やすのにお役に立てればと願っています。

